



気になるあいつ  
わかぎゑふ

双葉社

## 詐欺……

写真はうちの母である。携帯のカメラの調子が悪くてちよつとピンボケだが、紗がかかったような風情があるので、出してみた。しかし、今回の機種はどうも調子が悪い。買ってひと月の間にバッテリーが2時間くらいで落ちるようになり、あんまりやなと思つて買いなおしたばかりだったのに……いろんな機能が付きすぎていて、駄目になるのが早いのかも知れない。

話がそれた、母のことだった。彼女は今年83歳になった。すでに足が立たないとか、寝込んでいるというのなら普通の老人なのだろうが、家

の前のけっこうな坂道を、自転車でテクテク上がって買い物に行く元気者だ。

居合い5段という腕前で、毎週土曜になると、背中に刀を背負って稽古に行く。一度、朝まで飲んで家の前にゴミを出しに行くと、母が忍者のように刀を背中に斜めに背負って立っていたので、お酒のせいで悪夢を見てるのか？ と思ったほどだ。父親ならまだしも、母というところが彼女の変人ぶりを際立たせている気もする。

そんな母は実はかなりキュートな顔立ちだ。私は父親似なので、こういう顔に生まれたかったと思わせられる事も多い。丸顔で鼻が小さく、目が大きい。おまけに色白で、若い頃の写真を見ると今どきの顔をしている。

しかも、髪の毛が猫っ毛で、長く伸ばすと巻き毛になるような柔らかい髪なんである。剛毛で直毛の私からするとまったくもって羨ましいの

一言なのだ。なんでも洗って濡れ髪の間には癖をつけると、乾いたらそのままウエーブがつからしい。いいなあ…と子供の頃から何度思ったことだろう。

ま、顔立ちがキュートなだけで性格はぶっ飛んでいるのだが…。母の最大の欠点は料理が下手なことである。自分でも「お母ちゃん、80年以上生きてるけど、料理好きやと思ったこと一回もないわ」と公言して憚らない。

今までの最低傑作は「肉じゃがトムヤムクンスープ煮込み、レモン添え」である。この世のものとは思えない食べ物で、今思い出してもめまいがするが、そんなものすごいものを作って持ってくる、キュートな顔で「これ食べてみる？ 面白いで」と言い放つのである。そして笑顔に騙されてつい食べると…地獄を見ることになる。

顔が可愛いというのは罪だ。詐欺だ！ 分かっているもやっぱり騙されるなんて！ もう40年以上つきあっている私でもそうなのだから、う

ちの旦那や、友達がコロリと騙されるのは言うまでもない。

はあ…いつか彼女に騙されなくなる日が来るだろうか…まだまだ長生きしそうなので、その日がくるのを楽しみに待つてはいるのだが。

---

【著者略歴】

わかぎあふ

1959年、大阪府生まれ。女優、エッセイスト。1986年より故中島らも氏とともに劇団「リリパット・アーミー」を主宰し、現在同劇団の進化形「リリパット・アーミーII」の座長。1994年より演劇ユニット「ラックシステム」を旗揚げ。演劇制作会社「玉造小劇店」を運営し、女優のみならず、脚本、演出、メイクから衣装まで芝居全般にわたりその才能を発揮し続けるスーパーレディ。主な著書に『すみっこのすみっこ』『女体の神秘』『秘密の花園』『ぬくい女』『イブの抜け穴』『大阪弁の詰め合わせ』など多数。

---